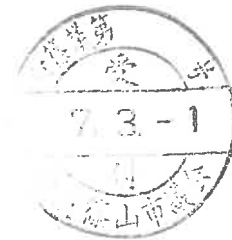


# 供覧・決裁

議長 副議長 局長 課長 課長 係長



様式第2号 (第3条関係)

令和7年 3月 1日

丹波篠山市議会議長 様

会派名 福祉と教育

代表者名 向井 千尋

又は会派無所属議員の氏名

政務活動報告書

印

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

## 記

1. 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動  
その他（書籍購入）
2. 活動期間： 令和7年2月14日（金）～15日（土）
3. 場所： ユニトピアささやま  
丹波篠山市矢代 231-1
4. 活動者： 向井 千尋
5. 活動の概要： 別紙参照
6. 考察： 別紙参照
7. 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
研究研修費	出席者負担金	12000	
合計		12000	

政務活動調査研究報告書

報告者	福祉と教育 向井千尋
日時	令和7年2月14日(金)15日(土)
調査研究名	SDGs地域ミーティング2025
開催場所	ユニトピアささやま
内容	<p>目的：持続可能な社会づくりに向け丹波篠山市における団体、個人の活動推進、課題解決の場づくりを行い実利のあるローカルプラットフォームの構築をめざす。</p> <p>ユニトピアささやまをSDGs推進、ネイチャーポジティブ（自然再興）実現の拠点としての活用を模索する。</p> <p>テーマ：SDGs住み続けられるまちづくり 陸の豊かさを守ろう パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>・基調講演「<u>地域課題とローカルSDGs</u></p> <p>①岡見厚志氏（環境省 近畿環境パートナーオフィス統括）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国のEPO（環境パートナーシップオフィス）は全国に8か所あり、環境省の請負であり、NPO法人エコネット近畿、全国と連携した中間支援拠点である</li> <li>・ローカルSDGsとは・・・環境、経済、社会が循環しながら同時に課題解決へと回っていく</li> <li>・近畿環境館は伴走支援と相談支援を行っている（支援先；長浜市、奈良市、京都市）</li> </ul> <p>②田代優秋氏（丹波篠山市農都環境政策官）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員さんに「生き物を守るとまちはどう良くなってなるのか？」と問われた</li> <li>・日本農業遺産とは国連が世界の規範となる農業について認定している。丹波篠山はその認定を受けた。農業遺産を生かしたまちづくり。</li> <li>・農業遺産申請のきっかけとなった丹波黒は、100年以上前から栽培されていることが古文書（料理本）から分かった。丹波篠山の気候が丹波黒を産んだ。ため池が多いことで水生生物が多い、灰小屋が90箇所も残っている農村は他にはない。</li> </ul> <p>③木本衛氏（パナソニック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・panasonic green impactはCO2の排出を減らし社会に貢献ことを目標</li> </ul>

	<p>としている。環境行動計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーポジティブの取組み</li> </ul> <p><u>活動からみた地域課題</u></p> <p>①里山における有機農業」吉良佳晃氏（吉良農園）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を退職し「地域課題の最前線に立ってやろう！」と始めた農業</li> <li>・不来坂と住山は武庫川の源流、圃場未整備、課題は獣害、草刈り、担い手、</li> <li>・吉良農園→有機農業、農業体験 一社 AZE→スクール、ミチノムコウ</li> <li>・3ha、6枚の田んぼをそれぞれのデータをとっている</li> </ul> <p>②「人と野生動物の共生」鈴木克哉氏（NPO 法人里地里山問題研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、人口減、担い手不足+獣害で将来の展望が持てない</li> <li>・獣がい対策で農村の未来をつなぐことを目的としている</li> <li>・関係人口、黒豆オーナー、篠山きたる（野菜の宅配）</li> <li>・たんぼ LPS チャレンジ</li> <li>・地域支援人材の必要性、農村と自分のゆたかな未来をつくる仕事</li> </ul> <p>③「地域森林資源の活用」高橋隆治（NPO 法人バイオマス丹波篠山）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波篠山の75%が森林、広葉樹林7割、人工林3割</li> <li>・木の駅プロジェクト、ペレット、木育（古市小、西紀小）</li> <li>・自伐型林業</li> </ul> <p>分科会では3班に分かれて、意見交換 地域の課題解決に向けてでは吉良さん、鈴木さん、高橋さん、天野さん（パナソニック）と会場がグループワークをしながら意見を共有していきました。</p>
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代(大学生)から70代の方まで、市内外から多様な方々の参加で、「環境」「SDGs」「地域課題」「里山」等の共通テーマでの講演や意見交換はたいへん実のある研修内容でした。</li> <li>・1テーマごとに問題意識や問題提起、自分自身のあり方を問われ（毎回自分の意見を書いて発表したり、グループで意見交換をする形式）緊張感と解放感のバランスが良かったです。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・多様な方と意見交換することで、自分自身も問われるし、多様な取組みが考えをきくことができました。</li><li>・農家は減っているが農業に関心を寄せている人は増えている、という吉良さんの報告にもあったことを今回の研修で実感しました</li><li>・ユートピアに活用については、里山再生のモデル事業、関係人口、人材育成の拠点としての可能性があります。</li></ul> |
|--|--|

領収証

福祉教育

市議会

向井 千尋

様

No. 12

金額

¥12,000-

但

SDGs地域ミーティングささやま2025参加費として

2025 年 2 月 14 日 上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

SDGs地域ミーティングささやま2025実行委員会

〒669-2356 兵庫県丹波篠山市矢代231-1

TEL:080-9944-4877

天野